

館報

発行所 大熊町公民館
電話大野(024032)65番
編集責任者 吉田 農夫 雄
印刷所 加納活版所
電話平(4)2409番

祝祭日には国旗を掲げましょう

くらしのヒント

5月 レクリエーションを楽しみましょう
子供の健康に気をつけましょう。

6月 歯の予防につとめましょう。
梅雨どきの衛生に気をつけましょう。

7月 自然に親しみからだをきたえましょう。
台所の衛生に気をつけましょう。

晩春の海

暦の上では5月6日が立夏となる
4月は和名の「卯月」という波流花
ざかりなので略して卯月と名づけた
とある。

陰暦なので今の五月にあたる。

小田広道氏撮影



中屋敷分校発展的解消

——スクールバスみやま号と命名——

大野小学 世に送ったが、年々在校生は減少し、去る四月二日部員校は、三月三十一日に閉校式に八名の児童が可愛い姿で参列しました。

閉校式での式辞や挨拶の中で、発展的解消と述べられましたが、まさかその通りで、教育の機会均等の点から、多少の不便をかこちながらもスクールバスで本校に寄せ、環境の良い教育の場で、より高度な人作りに尽力することこそ、個人そして社会の幸福をもたらすものといえるでしょう。

四十四年度の区長さん

区長会長は吉岡賢司氏

四月の区長会において、選挙の結果、昭和四十四年度の区長会長に吉岡賢司氏、副会長に金沢健吉氏、保健委員長に鈴木義雄氏が夫々選ばれました。

なお昭和四十四年度の部落区長は次の方々です。

二区	吉田 茂宗
三区	渡部 清悟
四区	米倉 清淳
下野上一区	愛場 清仁
二区	小山 吉範
三区	熊谷 貞雄
四区	金沢 義雄
五区	高瀬 正春
大川原一区	石田 敬
二区	横川 英明
三区	末永 高
四区	油井 齊
二区	荒木 幹夫
猪狩 武	鎌田忠治郎
野馬形区	渡部 彦太
小入野区	渡部 正春
大和久区	吉岡 賢司
夫沢一区	中野 信公
二区	渡辺 庄一
三区	鈴内 勉

総合農政時代

これからの米作り

頭を使う時代

「かえされるか」とビクビクしたが、通ったからよかった。「パスしたので安心した」なんて安易な気持ちではこれからの米作りは長持ちはしない。今までは食糧制度の保護の下に、増産、増産作りさえすればと商品化することを忘れ、ひたすらに質より量と農家はまっしぐらだった。

土地の基盤整備や、稲作技術の進歩、病害虫の防除、機械の導入による省力等全く目ざましい進歩を挙げたことはいない。事実であるが、これからは国の総合農政にふさわしい農業経営に大いに頭を使う時代に入ってきたようだ。

若い後継者に期待する。福島県では去る三月二十八日晴れの「農業十傑」を発表したが、今年の大々特徴は二十代の農業者が二人も入賞していること、酪農三人、養蚕、米が各々二人、果樹、ここんにゃく、野菜栽培が各々一人ずつで総合農政時代にふさわしい多彩な顔ぶれであった。例年に比べ米作で選ばれた人がわずか二人とは時代を反映してはなからうか。

五月にかけての暦

- 4/29 ● 天皇誕生日
- 5/1 ● メーデー
- 2 八十八夜
- 3 ● 憲法記念日
- 5 ● こどもの日
- 6 立夏
- 8 世界赤十字デー
- 10 愛鳥週間
- 11 母の日

農事暦

- 4月 播種一陸稲、とうもろこし、きび、豆、西瓜
- キャベツ、にんじん
- 馬鈴薯一芽かき、追肥
- 水 稲一苗代整地、施肥
- トマト、胡瓜一植付け
- 5月 定植一播種稲、落花生
- 西瓜、白瓜、馬鈴薯
- 甘藷、茄子
- 水田耕起、苺、そら豆、茶の収穫。

動き出した、みやま号 スクールバスみやま号は中屋敷分校廃止にともなって4月から動き出した。命名は大野小学校生徒446人から公募した500点のうちから、3年生の木田るみ子さん(9才)、4年生の玉橋雅子さん(10才)の応募名みやま号を当選名として名づけられました。



国民年金だより

時効完成迫る

結核障害

昭和三十九年八月一日から結核疾患、結核性呼吸器障害が、国民年金の障害の範囲に取り入れられたことは、すでに御承知のことと思います。これらの障害で初診日が昭和三十六年七月三十一日以前にありかつ昭和三十九年八月一日において一級の障害程度にあるものは、同日に受給権が発生するため、五年を経過する本年八月一日に時効が完成します。皆さんの家庭に該当者がありましたら請求届を提出して下さい。医師の診断書の用紙と障害年金請求用紙は役場住民課に備えてあります。

▼未支給福祉年金の請求届を忘れず。

福祉年金の受給者が死亡した場合には受給者の生存して

福祉年金の定時届を忘れず

五月六日より五月十日まで福祉年金の定時届を受付いたします。年金証書と印鑑持参の上手続きをとって下さい。おわかりにならない点は年金係にお問合せ下さい。

なめこ作り

私たちのグループ活動

私達熊川ナメコグループは、今年も共同で私の家の庭先で若い嫁ばかりでつくっており、昨年より少し早い二月六日よ

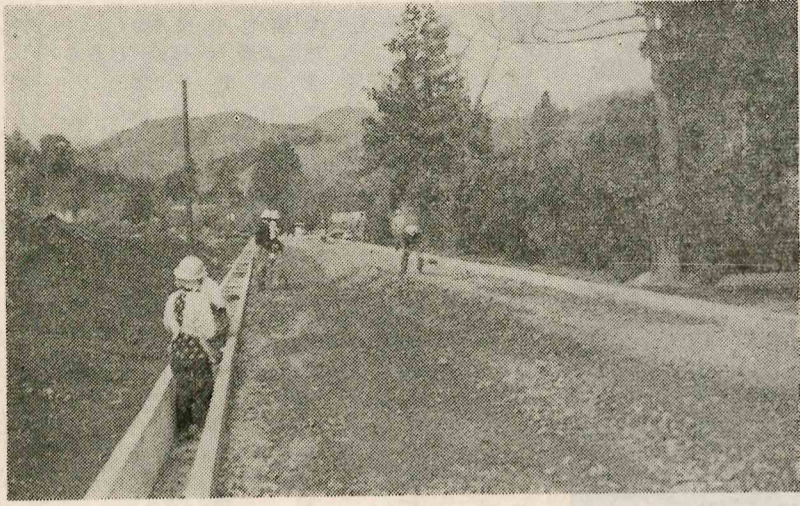
ます。私達は三年前若妻級で原町市の木幡先生に指導を受け最初は六名のグループではじまりました。それが昨年は十三名、今年は十六名とふえ、今年も熱心に御指導下さった愛場さんのお蔭と皆懸命に頑張った次第です。今年はいよいよ一層の成績をあげるよう箱数を増し小使の足しにしたいと今から胸をふくらませております。昨年の仕込みは七百箱でしたが、実収獲は五百箱くらいでした。今年の仕込みは二千箱で、内ナメコは千八百箱、ヒラタケ二百箱ほどです。昨年の出荷は主に富岡市場でしたが、予想通りの値には売れませんでした。今年是非組合の世話で東京方面に共同出荷をした

いと話し合っております。

町の変ぼう

坂下ダム運搬道路

大熊町を訪れる人々は、大熊町は活気に満ちているという。写真は、急ピッチで進められている大川原地区上平停留場から坂下ダム予定地に運ぶ坂下ダム運搬道路の拡充工事。



力には頭の下る思いでした。協力員長の愛場さん、組合長さんには色々な面で御指導と励ましによりグループもここまで伸びたのだと思います。これからもみんなで協力しての活動を盛んにしたいと思います。西 弥生

写真下は熊川若妻 ナメコグループ員

総合農政の花形 畜産を語る

＝農政の末端に力＝

総合農政の施策を政府は打ち出し、本年度の政原案をみると、国家予算の伸び一五・〇%

農林予算の伸び一七・八% 畜産関係では、三二・一%の増となり近年にない伸びとなった事は誠に喜ばしい。然し三三億七千万円という膨大な国の畜産予算が、どの様に使われ、私達農家に、一体どんな姿で流れてくるのでしょうか?

阿武隈山系の開発で、夢の様な大草場が出来、立派な牧場が次々と生れ、県では試験場や近代施設に予算を投入し、一方地方では畜産団体が群雄割拠して、補助金を奪い合い、やと導入牛のワケがきたかと思つと、有力者に割当てられて牛が借りられない。

総合資金を利用しようと思えば、余りにも大きなメニューで手が出ない。

総合農政、畜産振興という大河の水も、途中の山野を繁茂させ、中間の御役所、団体等を繁昌させるが、末端農家までは流れがとどかず、我々農民はせせりやめてゆけば、そこそこの先生方や指導者にお願ひしたい事は、

この大河の水を、途中で無駄に使用し、漏水させないで、正しく、早く、多く、農家の庭先に流し込み、その使い方を是非教えてもらいたい。かくすれば、僅かの誘水でも枯渇している農民は奮起して立ち上るでしょう。



又、弱者！吾々農民は総力を結集して、組織をつくり強く立ち上らなければ、とりこされてしまう事でしょう。こゝに政治があり！施策が生れてくるのではあるまいか。私達は、今から七年前同好の士、相集い研究会を結成し、粒々辛苦今日の大熊町肉用牛の生産団地造成にささか貢献した事を思つと、旧懐を禁じ得ない。反面総合農政の頼り無さに、悲観させられてくる様な気がする。

去る四月二日、双葉郡下の仔牛品評会で、大熊町から生産された仔牛が圧倒的に良い成績で特に上位五頭が大野地区で独占した事を御紹介したい。

優等 野上 山岸 豊
下野上 堀川 晃
一等 大川原 渡部 諭

心配ごと相談日
場所 公民館
5月 1日
6月 5日
6月 19日
どの様な心配ごとでも気軽に相談に来てください。

昭和四十四年度

当初予算

町民の皆さんは町の予算がどのようになっているかという事には、多大の関心をお持ちのこと、思います。昭和四十四年度の当初予算は三月二十日の定例議会で議決され、その概略は次のとおりであります。

区 分	金額 (千円)	比率 (%)
1. 町 税	43,546	18.9
2. 自動車取得税交付金	3,012	1.3
3. 地方交付税	70,000	30.4
4. 交通安全対策特別交付金	197	0.1
5. 分担金及負担金	33,808	14.1
6. 使用料及び手数料	4,258	1.8
7. 国庫支出金	21,456	9.3
8. 県支出金	22,505	9.8
9. 財産収入	6,339	2.7
10. 寄付金	14,488	6.3
11. 繰越金	1	—
12. 諸収入	1,404	0.6
13. 町債	9,500	4.7
才入合計	230,514	100.0

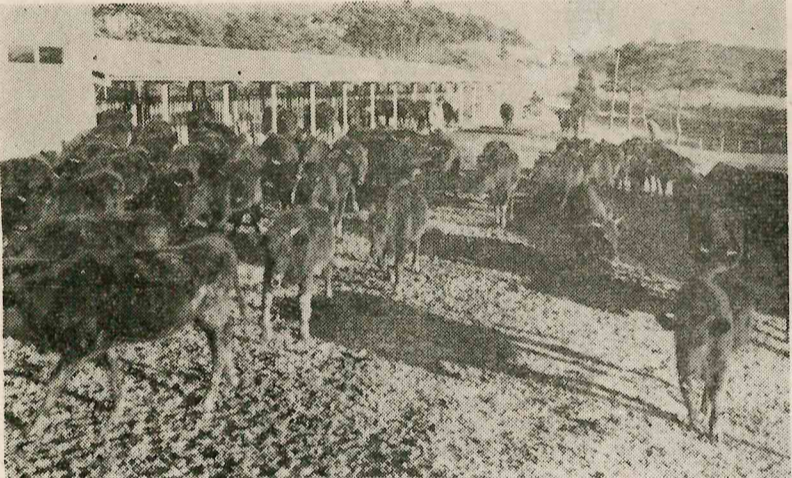
(1) 目的別才入内訳は次のとおりであります。

一、一般会計予算

一般会計当初予算の規模も、主財源としての町税は、四千円状況であります。年々増大し、今や二億円を突、三百万円余で一八・九%である。分担金及び負担金の重なるものも、町の自り、他の財源に依存しているは、手の倉タム及び農免農道です。

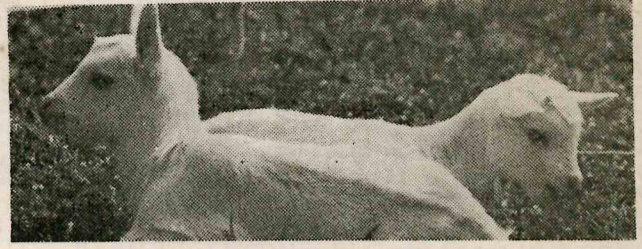
分担金であり、町債の内訳は町営住宅建設事業債であります。

種付をした繁殖センターの牛群



(2) 目的別、才出内訳は次のとおりであります。

区 分	金額 (千円)	比率 (%)
1. 議会費	8,254	3.6
2. 総務費	35,755	15.5
3. 民生費	11,650	5.1
4. 衛生費	6,845	3.0
5. 労働費	14,849	6.4
6. 農林水産業費	68,978	29.9
7. 商工費	543	0.2
8. 土木費	35,440	15.4
9. 消防費	4,994	2.2
10. 教育費	21,525	9.3
11. 災害復旧費	1	—
12. 公債費	12,770	5.5
13. 諸支出金	8,140	3.5
14. 予備費	770	0.4
才出合計	230,514	100.0



44年度 婦人学級生募集

大熊町教育委員会

44年度婦人学級生の募集については、すでに大野、熊町両婦人会を通じて募集を依頼しましたが館報をもって重ねて公示します。

応募おくれの方は、4月26日まで追加受け付けます。

- 一、名称 大熊町婦人学級
- 二、実施機関 大熊町公民館
- 三、開設期日 自昭和四十四年四月
- 四、開設期日 自昭和四十四年四月一
- 五、開設場所 大熊町公民館
- 六、学習内容 家庭生活、家庭と情操、労働と健康、社会と家庭、課外
- 七、学習時間 年間五五時間
- 八、入級資格 年齢33才迄の希望者で出席可能なもの。住所、氏名、生年月日保護者又は配偶者名を記入の上公民館に申込んで下さい。
- 九、入級申込

44年度 青年学級生募集公示

教育委員会

44年度青年学級生募集については、各区分長さんを通じて公示済みですが、重ねて公示します。

応募おくれの方は、4月26日まで追加受け付けます。

- 一、議決 三月二十二日
- 二、名称 大熊町青年学級
- 三、実施機関 大熊町公民館
- 四、開設期日 自四十四年四月一
- 五、開設場所 大熊町公民館
- 六、学習時間 年間三〇〇時間
- 七、学習科目 A・Bより 差あり
- 八、入級資格 23才までの男、女
- 九、詳細は公民館に問合せ下さい。

大野公園に桜の植樹

スパーク球団

美化運動のり出したが、手始めとして大野公園に桜の木を増植することに決定し、聖徳太子の礼祭を前に四月十一日桜の苗木二十本を植え、奉仕精神の薄らいできている時節柄、おまに明るい話題を投げかけている。

写真下は団員の植樹風景



公民館 部落分館長会議

町内部落分館網の完成にもなつて、四十四年度は部落分館活動を飛躍的に推進するために次の様な日程で分館長会議を開きますので各部落分館長さん又は代理の方は必ず出席して下さい。

- 一、月日 四月二十四日
- 二、時間 自九、三〇分―至十五、〇〇
- 三、会場 大熊町公民館

四十四年度社会教育の共通モットー

時間の厳守

44年度は、お互いに時間を厳守する事を共通のモットーにしたいと思います。

会合の始まる時間と、終る時間をはつきり定めて時間を守りましょう。

公民館使用の際の懇談なども最終の時間には、螢の光を吹奏しますので御協力願います。

昭和44年度 大熊町当初予算

(3) 一般会計性質別才出内訳

分 区	金額 (千円)	比率 (%)
1. 消費的経費		
(1) 人件費	59,297	25.7
(2) 物件費	28,926	12.5
(3) 維持補修費	900	0.4
(4) 扶助費	1,062	0.5
(5) 補助費等	15,571	6.8
2. 投資的経費		
(1) 普通建設事業費	93,121	40.4
(2) 災害復旧事業費	1	—
(3) 失業対策事業費	14,849	6.4
3. その他		
(1) 出資金	81	0.1
(2) 繰出金	1,050	0.5
(3) 公債費	14,886	6.3
5. 予備費	770	0.4
才出合計	230,514	100.0

才出面に於いては、特に事業課の農林水産費、土木費労働費等が大きな割合を占めておられます。その重要な内訳は次のとおりです。

分 区	金額 (千円)
坂下ダム建設事業	28,250
都市計画街路事業	1,200
県道改良事業	4,948
町道補修	1,985
河川補修	1,273
公営住宅建設事業	18,843
国土調査事業	2,720
消防ポンプ、防火水そう	1,420
熊小改築工事	500
土地取得事業	7,140
失業対策事業	14,849

二、水道事業会計予算

広域簡易水道建設も昭和四十三年で完成し、現在加入戸数は一、〇五〇戸で水道を利用して、その予算は次のとおりであります。

区 分	金額 (千円)
収益的収入	
1. 給水収入	5,400
2. 受託工事収入	1,500
3. その他の営業収入	35
4. 受取利息	30
5. 一般会計補助金	4,607
合計	11,572
収益的支出	
1. 事業費用	8,215
2. 支払利息	3,357
合計	11,572
資本的収入	
1. 一般会計出資金	2,250
合計	2,250
資本的支出	
1. 建設改良費	1,410
2. 企業債償還金	840
合計	2,250

三、国民健康保険特別会計予算

才入、才出の内訳は次のとおりであります。

区 分	金額 (千円)	比率 (%)
才 入		
1. 国民健康保険税	20,905	42.7
2. 使用料及手数料	20	—
3. 国庫支出金	27,605	56.4
4. 県支出金	63	0.1
5. 財産収入	165	0.3
6. 繰入金	51	0.1
7. 繰越金	1	—
8. 諸収入	172	0.4
才入合計	48,982	100.0
才 出		
1. 総務費	2,429	5.0
2. 保険給付費	44,723	91.3
3. 保健施設費	987	2.0
4. 基金積立金	291	0.6
5. 諸支出金	2	—
6. 予備費	550	1.1
才出合計	48,982	100.0

町民の広場

本欄には投書 会合 ちまたの声を主にのせました

変りゆく郷土の自然

崩れゆく権現山

姿を消す長沢の滝

大野野上にある権現山はた
だ今採石場となって麓から崩
されていく、大野小学校より
往復一時間ほどの距離にあ
るので、冬期山登りにいった
経験は大ていの人にもつてい
るに違いない。

一体この権現山にはどんな
歴史があるのだろうか。

権現山は正しくは羽山権現
といわれ、野上部落ではハマ
ン岳といわれていた。

国民の祝日には

国旗を掲げましょう

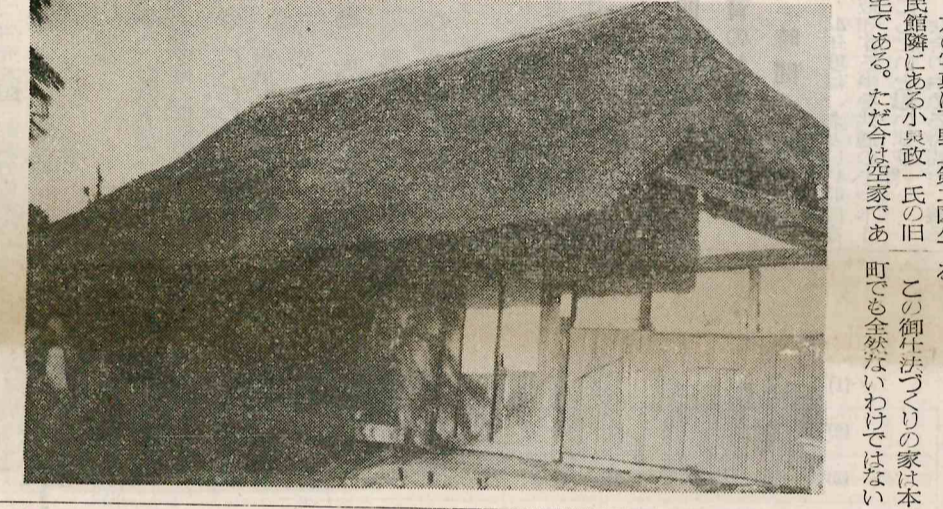
去る三月三十一日、公民館
総合委員会が開催された時、
国旗を掲げる問題がとりあげ
られた。

国旗を掲げることに反対の
人は誰もいなかった。日本国
の制定した国旗を掲げること
に反対する理由はないと思っ
た。しかし実際国民の祝日に国
旗を掲げる家は基盤のない現
状である。なぜ実行されない
のだろうか。理由の二、三をあ
げてみる。

1 忘れてる。国旗をたてる
日であることを忘れてる。
忙しい時など特に忘れ易い
一策として家族の中に責任
者をきめておいたらどうだ
ろうか。昔は学校で先生か
ら祝日の前日にお祝する理
由を聞かされ、国旗を掲げ
るよう話されて帰ったの
であるが、今はそんなこと
もなきである。

2 国旗がない。町では何回か
国旗のあつせんをしたので
相当数入っていると思われ
る。その何分の一かが、日

- 農協新役員さまる**
- 理事 栃久保茂 小野田清隆
米倉清淳 堀川 晃
武内 実 藤森隆三
石田 敬 石田真宗
猪熊 明 朝田政好
- 監事 武内重信 中野 廉
沢内久一 黒木三男
尾内武夫 佐々木正男
金沢健吉 志賀英明
渡部正春



貴重な文化財

御仕法づくりの民家

左の写真は下野上第二区公
民館隣にある小泉政一氏の旧
宅である。ただ今は空家であ
る。この御仕法づくりの家は本
町でも全無なわけではない

長沢の滝は昔から大野の人
たちになじまれ、山菜とりの
人たちのどかな休息の一時
を与えてくれた、なつかしの
あつた。この滝も心ある
人々に、たまらないなつかし
みを感じさせられる。

この石器はただ一回の
採集で私拾ったことができた
ので、もう珍らしいものではな
いのかも知れない。これも縄
縄な答を与える人はいない。
しかし今科学が発達した
ため、おおよその年代を知る
ことはできるようになった。
大野町には五、六千年前には
人間が住んでいた。

それは大平、松の下の台地
でも早く人間が住みついたら
いわれている。

◎大平遺跡について
大平遺跡については、福島
県史に記載されている。こ
れは五、七センチ位の「一」
の字形の石の小刀で、皮をな
めるときに、脂肪や肉片をか
きとるに使われたといわれて
いる。

◎なぜこんな台地に人が住ん
でいたか
よく汽車の窓から大平の話を
すると、なぜあんな不便な
所に昔の人は住んでいたのだ
らうと必ず反問される。今は全
く不便極まりない場所であるが、
当時とはまた異なる便利な場所
であったに違いない。当時は
まだ田畑の耕作は行われず、
木の葉や魚を食料として
いた。熊川沿岸にイネが作ら
れたのは、大平に人間が住み
ついでから三、四千年後、今
から二千年前の頃なのである
だから彼等はこの台地が格好
の住みよい場所だったのであ
ろう。

◎大平人はアイヌか
我々の先祖は天孫民族で、
ニニギノミコトのおともをし
て、高天原から下りられたの
だ。我々は昔教えられた。北
の方にはエソ、南の方にはタ
マノ、大和地方にはツチクモ
といわれた。

◎大平の縄文遺跡
大平、松の下の他に熊町旧
役場跡の塚の草、根柢、大川
原の畑谷地、上平、道平、野
上小塚、中屋敷、万石門の
野上川流域、梨木平、羽山岳
野上原などにも遺跡がある。
松本幸一

昭和44年度公民館
報編集について

公民館報の内容その他につ
いての御批判はその都度申上
げている通りです。他町村の
館報は公報形式で、すつきり
しているようですが、本町の
館報は役場公報、議会公報、
産業面、社会教育、町民の広
場と内容を多彩にし、豊富に
した所が特徴があるかと思わ
れます。今年度は部落公民館
活動も活発になるかと思われ
ますので、この面もお知らせ
したいと思えます。今年も六
回発行、偶数月の二十日ごろ
発行の予定です。 編集部

**大野婦人会
新役員さまる**

去る三月十八日、公民館に
於て総会が開かれ、部落役員
が新に選出された。

▼本部落役員

会長 加藤 菊
副会長 米倉トミ
理事 泉田スミ
監事 鈴木トヨ
会計 木幡ササ
書記 堀川光子
部落委員(新役員)
野上一区 木幡光代

投書

電気導入に対する感謝
中屋敷 持田虎之助
今度の電気導入に中屋敷地
区民の一人として、お礼の言
葉を述べさせていただきます。

志賀町長さん始め町で当局
のご配慮並びに町議会議員各
位のご尽力でこの大事業は、
二月二十七日完成しました。
中屋敷でも川内村毛戸に隣
接する二戸は電気導入され
て、電気之恩恵に浴していま
したが、約二百メートル離れ
た家からは、ランプ生活とい
うみじめな生活をしてしまし
た。

私達は電源町大野でありな
がら、多額の費用を要するた
め、半ばあきらめていました

お願い

町営住宅にお住まいの方に
お願いいたします。用件があ
りましてお尋ねしようと思っ
ても、同じ規模の家ばかりで
中々発見できません。これで
は郵便屋さんには、どんなにか
お困りのことと思います。ど
うか厄介でも、標札をお願い
いたします。(二町民)

あとかき

昭和四十四年度最初の公民
館報を発行致しました。役場
公報として、役場機構の概要
本年度予算等町民にはなくては
ならない資料なのですが、限
られた紙面に全部は無理な
ので、別紙に印刷のやむなき
に至りました。新年度多忙の
ため、編集委員に欠席者があ
ったことをお詫言します。

◎大野町にはいつころ人間が
住みついたら
これは誰もが知りたいこと
である。けれどもこの間に正
確な答を与える人はいない。
しかし今科学が発達した
ため、おおよその年代を知る
ことはできるようになった。
大野町には五、六千年前には
人間が住んでいた。

それは大平、松の下の台地
でも早く人間が住みついたら
いわれている。

◎大平遺跡について
大平遺跡については、福島
県史に記載されている。こ
れは五、七センチ位の「一」
の字形の石の小刀で、皮をな
めるときに、脂肪や肉片をか
きとるに使われたといわれて
いる。

◎なぜこんな台地に人が住ん
でいたか
よく汽車の窓から大平の話を
すると、なぜあんな不便な
所に昔の人は住んでいたのだ
らうと必ず反問される。今は全
く不便極まりない場所であるが、
当時とはまた異なる便利な場所
であったに違いない。当時は
まだ田畑の耕作は行われず、
木の葉や魚を食料として
いた。熊川沿岸にイネが作ら
れたのは、大平に人間が住み
ついでから三、四千年後、今
から二千年前の頃なのである
だから彼等はこの台地が格好
の住みよい場所だったのであ
ろう。

◎大平人はアイヌか
我々の先祖は天孫民族で、
ニニギノミコトのおともをし
て、高天原から下りられたの
だ。我々は昔教えられた。北
の方にはエソ、南の方にはタ
マノ、大和地方にはツチクモ
といわれた。

◎大平の縄文遺跡
大平、松の下の他に熊町旧
役場跡の塚の草、根柢、大川
原の畑谷地、上平、道平、野
上小塚、中屋敷、万石門の
野上川流域、梨木平、羽山岳
野上原などにも遺跡がある。
松本幸一

◎大野町にはいつころ人間が
住みついたら
これは誰もが知りたいこと
である。けれどもこの間に正
確な答を与える人はいない。
しかし今科学が発達した
ため、おおよその年代を知る
ことはできるようになった。
大野町には五、六千年前には
人間が住んでいた。

それは大平、松の下の台地
でも早く人間が住みついたら
いわれている。

◎大平遺跡について
大平遺跡については、福島
県史に記載されている。こ
れは五、七センチ位の「一」
の字形の石の小刀で、皮をな
めるときに、脂肪や肉片をか
きとるに使われたといわれて
いる。

◎なぜこんな台地に人が住ん
でいたか
よく汽車の窓から大平の話を
すると、なぜあんな不便な
所に昔の人は住んでいたのだ
らうと必ず反問される。今は全
く不便極まりない場所であるが、
当時とはまた異なる便利な場所
であったに違いない。当時は
まだ田畑の耕作は行われず、
木の葉や魚を食料として
いた。熊川沿岸にイネが作ら
れたのは、大平に人間が住み
ついでから三、四千年後、今
から二千年前の頃なのである
だから彼等はこの台地が格好
の住みよい場所だったのであ
ろう。

◎大平人はアイヌか
我々の先祖は天孫民族で、
ニニギノミコトのおともをし
て、高天原から下りられたの
だ。我々は昔教えられた。北
の方にはエソ、南の方にはタ
マノ、大和地方にはツチクモ
といわれた。

◎大平の縄文遺跡
大平、松の下の他に熊町旧
役場跡の塚の草、根柢、大川
原の畑谷地、上平、道平、野
上小塚、中屋敷、万石門の
野上川流域、梨木平、羽山岳
野上原などにも遺跡がある。
松本幸一

◎大野町にはいつころ人間が
住みついたら
これは誰もが知りたいこと
である。けれどもこの間に正
確な答を与える人はいない。
しかし今科学が発達した
ため、おおよその年代を知る
ことはできるようになった。
大野町には五、六千年前には
人間が住んでいた。

それは大平、松の下の台地
でも早く人間が住みついたら
いわれている。

◎大平遺跡について
大平遺跡については、福島
県史に記載されている。こ
れは五、七センチ位の「一」
の字形の石の小刀で、皮をな
めるときに、脂肪や肉片をか
きとるに使われたといわれて
いる。

◎なぜこんな台地に人が住ん
でいたか
よく汽車の窓から大平の話を
すると、なぜあんな不便な
所に昔の人は住んでいたのだ
らうと必ず反問される。今は全
く不便極まりない場所であるが、
当時とはまた異なる便利な場所
であったに違いない。当時は
まだ田畑の耕作は行われず、
木の葉や魚を食料として
いた。熊川沿岸にイネが作ら
れたのは、大平に人間が住み
ついでから三、四千年後、今
から二千年前の頃なのである
だから彼等はこの台地が格好
の住みよい場所だったのであ
ろう。

◎大平人はアイヌか
我々の先祖は天孫民族で、
ニニギノミコトのおともをし
て、高天原から下りられたの
だ。我々は昔教えられた。北
の方にはエソ、南の方にはタ
マノ、大和地方にはツチクモ
といわれた。

◎大平の縄文遺跡
大平、松の下の他に熊町旧
役場跡の塚の草、根柢、大川
原の畑谷地、上平、道平、野
上小塚、中屋敷、万石門の
野上川流域、梨木平、羽山岳
野上原などにも遺跡がある。
松本幸一